

五月九日に、  
兵部少輔大伴宿禰家持の宅に  
集飲する歌四首

四四四二番

我が背子が やどのなでしこ 日並べて 雨は降  
れども 色も変はらず

四四四三番

ひさかたの 雨は降りしく なでしこが いや  
初花に 恋しき我が背

四四四四番

我が背子が やどなる萩の 花咲かむ 秋の夕は  
我を偲はせ

即ち 鶯の啼くを聞きて作る歌一首

四四四五番

うぐひすの 声は過ぎぬと 思へども しみにし  
心 なほ恋ひにけり